

さんぽっぽ~景観だより~第37号(28.8)~

まちあるきウォッチングinとうごう」を開催しました。

なっやす がっ にち せいりゅう 夏休みの8月3日、清流とフルーツの里といわれる東郷地域でまちあるきをしました。<mark>東郷小中一貫校</mark>を つくるための工事をしている現場や<mark>小鷹水力発電所</mark>、学問の神様と慕われている菅原道真公が祀られて いる「藤川天神」を見学し、現在の様子や歴史などについて専門家や神社の方々から話を聞きました。 また、薩摩川内市景観重要樹木に指定されている「南瀬の夫婦イチョウ」の景観や歴史、地元の方々の

思いについても教えていただきました。



かいかいしき



とっても広い敷地は、現在 の東郷小学校が6こ入るく らいあるそうです。





校舎のほか野球グラウンドやテニスコートも作られます。



小鷹水力発電所



藤川天神







とりまる ちく 鳥<mark>丸地区の</mark> たのかんさ



地域の方々は子どもたちがこのイチョウのように、たくましく育ってほしいと願っているそうです。



南瀬の夫婦イチョウ



ジュニア景観マスター認定証授与

暑い中、参加してくれてありがとう

體觀重要樹木第1号(雄株)、第2号(雌株)



(H23.3.28認定)

おかぶ にちろせんそう さんせん かた させぼ しゅし も かえ そだ 雄株は、日露戦争に参戦した方が、佐世保から種子を持ち帰り育った なえ、のうぜしょうがっこう こうもん う 苗を南瀬小学校の校門に植えたものです。その後小学校が移転して大き めかぶ めいじ ねだる う 雌株は、明治25年頃に植えられたといわれています。

